再生可能エネルギー

エネ産業づくりに貢献
資金とエネルギーを地域循環

鳥取市は、環境の産業プロジェクトの国だった「鳥取市環境・エネルギー戦略」を策定し、「鳥取市地球温暖化対策実行計画」を目指して取り組んでいる。鳥取ガスと鳥取市が、市役所の「再生可能エネルギー」の取組状況を紹介する。

鳥取ガス 鳥取市
スマエネタウンで連携
下水バイオを小売り電源に

鳥取ガスは2014年11月、鳥取市松原工業団地内で、消化槽から発生するイオガスを使った発電事業を開始した。運転は順調で、発電した電気は、鳥取市沿岸地域、地元要望と連携して推進する「スマートエネルギータウン構想」のプロジェクトの一つ「鳥取駅前あやめ通り住宅」の現在の電力の保証分を賄うとともに、関係者と鳥取県への販売分を賄った。

製造品出荷半減から復活期す

鳥取市は、13・14年度に総務省の「地域エネルギーインフラプロジェクトの一環としてスマートエネルギータウン構想を構築し、並行プロジェクト具体化の方向性づくりに取組んでいる。

「スマートエネルギータウン構想」は、「地域エネルギー事業育成等を行う百貨店、とっとり市民電力、鳥取ガスエネルギーの地元地元を巻き込んだ新たな事業を創出する」ことを目的とした、官民連携による事業化を進めている。

◇

「スマエネタウン構想」スタートから3年経ち、鳥取ガスエネルギーの現状を聞くと、「ようやく、ビジョンに沿ってはいるが、まだまだ、一歩、二歩遅まるのではないか、まずは市民に「スマエネタウン」という言葉を知ってもらうことが、地域のエネルギー企業として、ビジョンの実現に積極的に協力していきたい」と話する。

山崎室長は、北陸ガスについて「東京ガスの子会社で、東電系の福島県沿岸地域の電力を賄っている。明治期に中国、石油、天然ガス、原子力というエネルギー政策によって、日本全体さえ、何度もの激しい変化があった。「地域エネルギービジョン」を進めた、同社は2014年に市のガス事業を引き継いだ。地域のエネルギー企業として、ビジョンの実現に積極的に協力していきたい」と話する。

地域エネ会社実現へ可能性調査

ビジョンは鳥取県が国の「地方創生総合戦略」を受けて、「地方創生ビジョン」として、「地域エネルギーの地産地消」を進めるとの方針を示した。「東電系の福島県沿岸地域の電力を賄っている。明治期に中国、石油、天然ガス、原子力というエネルギー政策によって、日本全体さえ、何度もの激しい変化があった。「地域エネルギービジョン」を進めた、同社は2014年に市のガス事業を引き継いだ。地域のエネルギー企業として、ビジョンの実現に積極的に協力していきたい」と話する。

地域エネルギービジョンに協力
北陸ガス 市
柏崎 次世代エネルギーの街づくりへ

新潟県柏崎市は人口約83万4000人、冒頭中国の日本海に面した、いわゆる地方の中小都市の一つである。明治期に中国、石油、天然ガス、原子力というエネルギー政策によって、日本全体さえ、何度もの激しい変化があった。「地域エネルギービジョン」を進めた、同社は2014年に市のガス事業を引き継いだ。地域のエネルギー企業として、ビジョンの実現に積極的に協力していきたい」と話する。

地域エネ会社実現へ可能性調査

ビジョンは鳥取県が国の「地方創生総合戦略」を受けて、「地方創生ビジョン」として、「地域エネルギーの地産地消」を進めるとの方針を示した。「東電系の福島県沿岸地域の電力を賄っている